

沖縄視察とイージス艦「あたご」衝突事故

2月19日午前4時過ぎ、房総沖で海上自衛隊イージス艦「あたご」が勝浦の漁船「清徳丸」を沈没させる事故が起きました。「あたご」はハワイ沖で迎撃ミサイル発射実験を終えての帰りでした。さっそく、県担当者からヒアリングしましたが、海上自衛隊から県知事に事故発生の通報が届くのは発生して4時間半近くたってからでした。国民保護計画、国民保護訓練では今回の事故は想定外でした。

さて、イラクやアフガンで泥沼の戦争状態にある米国の1年間の軍事費は今や100兆円に跳ね上がっているそうですが、基地の整理縮小がすりかえられて私たちの税金で「米軍再編」という近代化強化計画が進む沖縄を1月17日～20日視察しました。宜野湾市、読谷村の自治体関係者の声を直接伺い、「やんばるの森」(東村高江)「ジュゴンの海」(辺野古)を守る現場で市民と交流しました。戦争そして軍事基地の存在そのものが最大の環境破壊であることを実感した視察でした。



勝浦有料道路が無料開放

～赤字(未償還金)総額は約60億円～

千葉県道路公社の勝浦有料道路(3.6km)が料金徴収期間30年を経過したことから今年4月5日より無料となり、県に移管されます。41億円で建設されましたが、計画交通量の10%台の交通量(千数百台/日)しかなく、赤字の総

額は60億円です。この赤字分は公社の他路線の損失補填金約46億円と県の補助金約10億円などで賄うこととなります。29年間の維持費実績は13億3千万円でした。今後これらの維持管理費は県の負担となります。県道路公社の財務状況も要ウォッチです。

小山町産廃処分場(千葉市緑区)

計画跡地の植樹祭に参加



3月8日、緑区小山町観音地の植樹祭(主催:千葉市板倉大椎土地改良区、共催:緑の環・協議会)に参加しました。主催者の方が冒頭あいさつで「平成18年9月、水源涵養の為の緊急措置として産廃業者と競り合い落札した。地元の自然観察の関心が高く、無残な姿にある土地に植樹をして森林を復元したい。」と語りました。千葉県の森林率は全国最低水準の31%です。広大な土砂採取場、産廃や残土処分場を抱える県にとって森林復元は大きな課題です。しかし、地球温暖化防止や生物多様性などのキャンペーンや啓蒙活動には熱心ですが、肝心の現場における森林復元の2008年度予算は数100万円規模でしかありません。そうした中、産廃処分場計画を中止させた現場で150名を超える市民の力で植樹祭を開催した意義は大きいものです。



地球温暖化ストップ

…遅れが目立つ千葉県…
～産業部門での削減がカギ～

3月9日に幕張メッセで開かれた県主催の国際シンポ「地球温暖化と生物多様性 from ちば」を1日傍聴しました。印象に残ったのは、井戸敏三兵庫県知事の話で、兵庫県では、温暖化防止は1990年と比較して2004年でCO2排出量0.1%減、2010年は11.8%減と目標を達成できる見通しといます。その秘訣は70%の排出量を占める産業部門とりわけ大規模事業者排出削減を強く求めた結果だそうです。また、瀬戸内海の水質改善のため、生活排水処理99%大作戦の結果、現在96%の公共下水道普及率にあり、風力発電についてもすでに「風力発電所環境配慮暫定指導指針」を策定したということです。一方、千葉県はといえばCO2排出削減は産業界の自主的な取り組みと県民へのよびかけが中心です。生活排水処理も遅れ、風力発電所の指針もありません。

シンポの最後に「適正な予防原則を適用し、管理体制の強化に協力していきます」という宣言文が採択されましたが、地球温暖化ストップと生物多様性の保護に向けて具体的な目標と新しい仕組みをつくることが不可欠です。

議会報告会のお知らせ

4月15日(火)
13:30～

千葉市生涯学習センター
地下1階メディア・エッグ

千葉県議と千葉市議の
合同報告会です。
ぜひ、お出かけください。

県議会速報

川本幸立の まちづくり通信



2008年春号

編集・発行 市民ネットワーク・みどり

千葉市緑区おゆみ野3-40-8-101 TEL&FAX 043-293-8011 043-294-8607(川本)

川本幸立ホームページアドレス: <http://www.k5.dion.ne.jp/~kawamoto/>

新年度予算案に反対!!

多額の借金がふくらみ続けています!

2008年度予算案は145億円の財源不足(3年連続)で、企業庁からの借り入れ分170億円を含めると財源不足は315億円を超えます。借金は一般会計で2兆5千億円、利子は6200億円、特別会計では5150億円、利子は1000億円の計3兆7350億円(県民一人約60万円)になる見込みです。

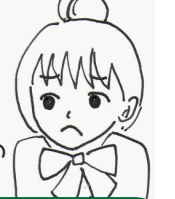
今後2009年度以降も歳入歳出の差し引き段階の不足額は12年度までの4年間で約3500億円に達し、財源不足は630億円が見込まれます。これではますます借金が膨らむばかりです。

わからない予算書

議員は本当に予算内容を審査してきたのか?

2月議会で2008年度の予算書(概要書、説明書、説明資料)を受け取り驚きました。どこを開いても事業の項目と予算額、前年度との比較がわかる程度のもので、たとえば、計画道路の範囲や構造を読み取ることは不可能ですし、学校給食など一食当たりがいくらかのことさえもわかりません。今の地方自治法施行令で様式が決まっている予算書を読む議員は、いないのではないのでしょうか。そこで常任委員会、これでは「最少のコストで最大の効果」のある予算が組まれているか読み取ることはできないとして、予算編成の基礎データの提供、予算編成過程の公開を強く求めました。中学生でも読めるもう一つの予算書をつくりたいものです。

2月 県議会 報告

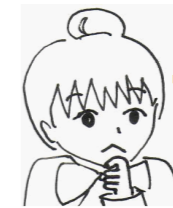


県内中学生の
みどりさん

3兆円を超える借金?
なぜ借金がふくらみ
続けてしまうの?

予算が、政府の補助金・交付金の誘導で
作られているからです。

「予算の質的転換」「事業の選択と集中」といいながらも不要不急で借金がふくらむ要因となってきた大規模公共事業(北千葉道路、酒々井IC、圏央道、八ッ場ダムなど)は見直しもされず計画通りです。直轄道路事業の今後10年間の県の負担金合計は約1800億円と見込まれます。



ふくらむ借金を
食い止めるには、
どうしたらいいの?

大規模公共事業の抜本的見直しと談合防止、
法人事業税の超過課税の実施を!

財政状況を改善し財源を確保するためには、大規模公共事業の縮小や中止を含む抜本的見直し、予定事業費1000万円以上に一般競争入札を導入し談合防止を徹底すること、法人事業税の超過課税を実施することが不可欠です。しかし、こうした施策は考慮されていません。これでは地方自治法第1条に定める地方自治体の使命「住民の福祉の増進」がないがしろにされます。